



「敬老の日」

9月は敬老の日があります。親が子を可愛がるのは、動物の世界では不思議ではありませんが、子が親を大切にするのは人間社会だけだと聞きました。敬老の日は元来、子として親（年老いた親）をどう大切にするかで、孫はその後に従うということではないでしょうか。祖父母と孫どけの関係ではないように思います。でも、祖父母と孫の絆は大切です。今年もハガキを出します。宜しくお願いします。

「神は人をご自分のかたちの想像された」

聖書に「神は人をご自分のかたちに想像された」とあります。神は人の姿に似ているというわけではありません。「似ている」の意味は神との絆を現す言です。私達は、神さまと深い絆で結ばれています。アダムは樂園にいながら、神さまとの絆を断った人です。そのしるしが、「リンゴを食べた」で現されています。



上記は、8月9日の礼拝講話「絆と孤独」の一部です。



★貸し出します★

前回（2015年7月29日号）で、宮沢賢治の紹介をしましたが、手許にある下記を貸し出します。希望の方はお知らせください。読み聞かせにも使えます。

- ・風の又三郎
- ・銀河鉄道の夜
- ・セロひきのゴーシュ

平成28年度新入園児を募集します！

10月1日より願書受付開始

ご近所、お友だちなど是非、めぐみ幼稚園をご紹介ください。
 願書、案内などご送付致します。76-3522まで

【聖書の言】

「いつも喜んでいなさい。絶えず
 祈りなさい。どんなことにも
 感謝しなさい。」



どんなに思いどおりにいかない時も、「良かった」と言ってみることで。それから何が良かったかを、こじつけでもいいから考えてみることで。何事にも喜びを探すと生活が感謝の日になります。

「大切な幼児期」

「いいことをしたら100ポイントもらえるんだよ」との会話が玄関ホールから聞こえてきました。100点というのは昔からありますが、ポイントというのは知りませんでした。時代が変わったのでしょうか。回転寿司で隣の幼稚園児（保育園児かもしれませんが）が板前さんにこう頼んでいました。「すいません！中とろサビ抜きをお願いします！」幼稚園児がですよ。時代の変化があります。しかし、子どもが変わろうが、幼児がとり回く環境が変わろうが、幼児期が大切なことは変わりません。幼児期だからこそ、しなければならないこと、幼児期だからこそできること、幼児期にしかできないことを念頭にカリキュラムやプログラムを考えています。神さまからいただいた大切な命と身体ですから。

☆教会礼拝（聖書講話）にお誘いします。

9月13日（日）午前10:00～11:00 諸川教会

10月11日（日）午前10:00～11:00 諸川教会

☆毎月第2日曜日に行っています。ご参加自由です。
 ご出席をお待ちしております。

